



会社名: アフラック・インコーポレーテッド
株式銘柄コード: 8686
問い合わせ先: アフラック日本社 IR サポート室
村上 一郎 (Tel: 03-3344-0481)

フレデリック・J・クロフォードが Aflac Incorporated の
エグゼクティブ・バイス・プレジデント兼最高財務責任者に就任

ジョージア州、コロンバス - 2015 年 6 月 24 日

Aflac Incorporated (以下「当社」) は本日、フレデリック・J・クロフォードを当社のエグゼクティブ・バイス・プレジデント兼最高財務責任者として採用し、当社会長兼最高経営責任者であるダニエル・P・エイモスの直属とすることを発表しました。クロフォードは 2015 年 6 月 30 日に就任し、当社の財務全般を統括します。

既報の通り、クリス・クロニンジャー三世は引き続き当社の社長として、資本政策および経営戦略の立案を中心に業務に従事し、当社の成長と堅固な収益性の確保に向け尽力いたします。また、クロフォードが最高財務責任者に就任した後、クロニンジャーはクロフォードと密接に連携して行きます。

クロフォードは、30 年近くにわたる財務面および経営全般の経験を、アフラックで活かすこととなります。直近では、2012 年より CNO Financial Group のエグゼクティブ・バイス・プレジデント兼最高財務責任者を務めていました。それ以前は、Lincoln Financial Group で 10 年以上もの間、エグゼクティブ・バイス・プレジデント兼最高財務責任者、経営企画および資産運用部門の責任者を含む、重責を果たしていました。Lincoln Financial Group に入社する以前は、Bank One Corporation において指導的役割を

担っていました。クロフォードはインディアナ州立大学で学士号、アイオワ大学で経営学修士号を取得し、現在、同大学 Tippie College of Business のファイナンス科で諮問委員会のメンバーを務めています。

当社の会長兼最高経営責任者であるダニエル・P・エイモスは次のように述べています。「フレッドのように、周囲から尊敬されるリーダーであり、かつ金融に対する識見と幅広い経験を有する練達の保険経営者を当社に迎えることを、心から喜ばしく思っています。フレッドの採用は、引き続き当社が規律ある財務運営に注力すること、および期待される長期的な成長を実現するため、経営陣を強化するという当社のコミットメントのあらわれです。フレッドは今後、アフラックにとって重要な貢献者になると確信しています。」

エグゼクティブ・バイス・プレジデント兼最高財務責任者としての新しい任務について、クロフォードは次のように述べています。「このような心躍るタイミングでアフラックに入社することは、私にとってこの上ないチャンスだと思っています。着任にあたり、アフラックがこれまで培ってきた経営の透明性や財務力への評価をさらに強固なものにすべく、自身が積み上げてきた経験や与えられてきた機会を活用できることを心待ちにしています。」

アフラックについて

当社は、ご契約者が病気または怪我をした時に現金を迅速にお支払いします。60年近くにわたって、当社の商品は、ご契約者が経済的な負担を抱えずに回復に専念する機会を提供してきました。当社は米国では職域における任意加入保険販売 No.1 の会社です。当社の先駆的な One Day PaySM の取組を通じて、アフラック米国社は、1営業日で支払の対象となる保険金請求の受付、処理、承認及び支払を行うことができます。日本では医療保険とがん保険の保有契約件数で第1位の生命保険会社であり、4世帯に1世帯のお客様に当社保険にご加入いただいております。当社の個人保険及び団体保険は、世界で5,000万人以上の方に保障を提供し、お役立ていただ

いています。『Ethisphere』誌は9年連続で当社を「世界で最も倫理観の高い企業」に選出しています。また、2015年、『フォーチュン』誌は当社を17年連続で「全米で最も働きがいのある企業100社」に選出するとともに、14回目となる「世界で最も賞賛すべき企業」にも選出、当社を生命保険及び医療保険分野の革新性で第1位にランクしました。Aflac Incorporated はフォーチュン 500 社に入っており、ティッカー・シンボル AFLとしてニューヨーク証券取引所に上場しています。当社とOne Day PaySMに関するさらに詳しい情報は aflac.com 又は espanol.aflac.com をご覧ください。

予測情報について

1995年の私的証券訴訟改革法は、企業に対して、いわゆる「安全港」の規定を設けています。規定によれば、その記述が将来予測に関する記述（forward-looking statement）として特定され、将来予測に関する記述に含まれる内容と大きく異なる結果を引き起こす可能性がある重要な要素を記した有意義な警告を伴うならば、自社の見通しに関する情報を積極的に提供しよう奨励しています。当社は、この規定を活用したいと考えています。本書には、将来の見通しと大きく異なる結果を引き起こす可能性がある重要な要素を記した警告を記載しています。こうした将来の見通しは、本書の中、あるいはアナリストと当社役職員との議論、米国証券取引委員会（SEC）に提出された文書の記述に含まれています。

将来予測に関する記述は、過去の情報に基づくものではなく、将来の事業、戦略、財務業績及びその他の進展事項に関するものです。更に、将来予測に関する情報は、さまざまな仮定や、リスク、不確定要素から影響を受けます。特に、「予想する」「予測する」「確信している」「目標」「目的」「可能性がある」「すべきである」「推定する」「意図する」「見積もる」「するつもりである」「仮定する」「潜在的」「対象」、あるいはその他の類似した言葉を含む記述、また将来の結果についての特定の予測は一般に将来予測に関する記述です。当社は、将来予測に関する記述について、最新情報を提供する義務を負いません。

当社が時々言及している事項のほかに、将来予測に関する記述と大きく異なる結果を引き起こす可能性がある事項は以下のとおりです。

- ・世界資本市場及び経済の困難な状況
- ・金融市場の安定化を目指す政府の行動
- ・当社の投資先の債務不履行及び格付けの引き下げ
- ・重要な金融及び資本市場リスクに対するエクスポージャー
- ・為替相場の変動
- ・運用利回りの大幅な変動
- ・当社保有の永久証券に関連する信用及びその他のリスク
- ・運用資産の評価に適用される異なる判断
- ・運用資産に係る減損金額の決定における重要な評価判断
- ・当社の条件に合致する円建て有価証券の限られた入手可能性
- ・特定の単一の発行体又はセクターに対する運用資産の集中
- ・日本に対する事業の集中
- ・その他の金融機関の信用力の低下
- ・保険料率の設定や責任準備金の算定に用いる仮定と実績の乖離
- ・子会社がアフラック・インコーポレーテッドに配当金を支払う能力
- ・不十分なリスク管理方針及び手続
- ・法律及び政府当局による規制の変化
- ・優秀な募集人と社員を引きつけ、維持する能力
- ・当社の財務力と発行体格付けの引き下げ
- ・情報システムの開発・改善を継続する能力
- ・電気通信、情報技術及びその他の業務システムにおける障害、あるいはそのようなシステムに収録されているセンシティブなデータに関する安全性、機密性又はプライバシーの維持の失敗
- ・米国及び(又は)日本の会計基準の変更
- ・患者のプライバシー及び情報セキュリティに対する制約の不順守
- ・訴訟の内容及び結果
- ・主要な経営陣メンバーの後継者を効果的に選出する能力
- ・伝染病、パンデミック、竜巻、ハリケーン、地震、津波、テロ行為を含むが必ずしもこれらに限定されない大惨事及びそれに付随して起こる被害

- ・保険業界における継続的な変化
- ・当社の評判に悪影響を及ぼす出来事
- ・年金及びその他退職給付プランに係る費用の増加
- ・内部統制やコーポレート・ガバナンスのポリシー及び手続きの失敗